

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 30 日 (2020.1.30)

【公開番号】特開 2018-167217 (P2018-167217A)

【公開日】平成 30 年 11 月 1 日 (2018.11.1)

【年通号数】公開・登録公報 2018-042

【出願番号】特願 2017-68342 (P2017-68342)

【国際特許分類】

B 0 1 J 35/04 (2006.01)

F 0 1 N 3/28 (2006.01)

C 0 4 B 38/00 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 35/04 3 0 1 C

F 0 1 N 3/28 3 0 1 P

B 0 1 J 35/04 3 0 1 G

B 0 1 J 35/04 3 0 1 A

C 0 4 B 38/00 3 0 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 11 日 (2019.12.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 4】

次に、得られたハニカム乾燥体を脱脂した。脱脂は、4 5 0 で 5 時間行った。次に、脱脂したハニカム乾燥体を焼成して、ハニカム焼成体を得た。焼成は、大気中、1 4 2 5 で 7 時間行った。なお、1 2 0 0 から 1 4 2 5 までの昇温は 5 時間とした。このようにして、実施例 1 のハニカム構造体を作製した。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 8】

また、特定セルの第 1 辺に設けられた突起部の数の平均値は、1 . 7 5 であった。第 2 辺に設けられた突起部の数の平均値は、1 . 7 5 であった。第 3 辺に設けられた突起部の数の平均値は、1 . 7 5 であった。第 4 辺に設けられた突起部の数の平均値は、1 . 7 5 であった。そして、これらの最大と最小の差は、0 であった。なお、「4 回対称の 4 つのセル (図 4、図 5 参照)」は、図 4 中の最も左側に位置する特定セル A に隣接する特定セル B のセル形状は、特定セル A を 9 0 ° 回転させたセル形状であった。そして、特定セル B に隣接する特定セル C のセル形状は、特定セル B を 9 0 ° 回転させたセル形状であった。更に、特定セル C に隣接する特定セル D のセル形状は、特定セル C を 9 0 ° 回転させたセル形状であった。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 7 8 】

[エロージョン試験の判定]

まず、セルの延びる方向に直交する断面において、セルの全ての辺に同じ数の突起部を等間隔で有するハニカム構造体をそれぞれ基準構造 1 ~ 4 とした。即ち、セル形状が四角形であり、全ての辺に 2 つずつ突起部を有する比較例 1、セル形状が四角形であり、全ての辺に 3 つずつ突起部を有する比較例 3、セル形状が四角形であり、全ての辺に 4 つずつ突起部を有する比較例 5、及び、セル形状が六角形であり、全ての辺に 2 つずつ突起部を有する比較例 6 をそれぞれ基準構造 1 ~ 4 とした。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 7 9 】

次に、基準構造 1 のエロージョン削れ量 (cc) に対する実施例 1 ~ 3 及び比較例 2 のエロージョン削れ量 (cc) を求めた。そして、これらの比の値 (実施例 1 ~ 3、比較例 2 の各エロージョン削れ量 (cc) / 基準構造 1 のエロージョン削れ量 (cc)) を基準構造 1 に対するエロージョン悪化率とした。同様にして、基準構造 2 に対する実施例 4 ~ 8 及び比較例 4 のエロージョン悪化率、基準構造 3 に対する実施例 9 ~ 1 3 のエロージョン悪化率及び、基準構造 4 に対する実施例 1 4 ~ 1 8 及び比較例 7 のエロージョン悪化率 を求めた。ここで、ハニカム構造体を排ガス浄化触媒用の担体として用いたときに、エロージョン悪化率が 1 . 2 0 未満であると、浄化性能が悪化することなく好適に使用可能である。このため、エロージョン試験の判定を以下の基準により行った。

判定「OK」：エロージョン悪化率が 1 . 2 0 未満である場合を「OK」とする。

判定「NG」：エロージョン悪化率が 1 . 2 0 以上である場合を「NG」とする。